

2004年9月〇日

～～（送信相手の所属）
～～様

第6回 IEEE 広島支部学生シンポジウム(HISS) 研究室展示参加のお誘いと企画概要

第6回 HISS 実行委員会
実行委員長 山田洋明

拝啓

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。この度、IEEE 広島支部では第6回目の学生シンポジウムを開催いたします。今回は、「社会への架け橋」をテーマとして掲げ、学生が主体となって企画、運営を行う「学生の、学生による、社会のための」イベントです。大学や企業で行っている研究を、基調講演やテクニカルプレゼンテーションを通じて発表し、議論していきたいと考えております。このシンポジウムは、従来の学会の研究会発表をさらに開放的にすることにより、より自由でかつ活発な議論を喚起し、それにより、学生が独自の考えを持ち人前で明確にそれを表明する術を身につけることを目的としています。本シンポジウムでは基調講演、パネルディスカッション、そして学生の発表の場としてテクニカルプレゼンテーションを行います。

また、私達はこの度のシンポジウムを学生の方だけでなく、高校生や電気・電子にあまり馴染みのない一般の方々などにも知っていただきたいと考えています。そこで今回もより一層大学というものを理解していただくために、研究室展示を行うこととなりました。企画内容については以下ようになっております。HISSの成功と今後の発展のため、是非ご参加いただくようお願い申し上げます。

敬具

1. 企画内容

- ・中国地方にある大学の研究室がそれぞれブースを作り研究室や研究内容の紹介を行って頂きます。
- ・一般（開催地近辺の高校生や一般の方、参加大学の学生）の方が来て、見て、触って理解できるような体験的な展示を設置して頂きます。そのために研究室側には、専門知識のない一般客にいかにして研究等の紹介や説明をするかを独自で工夫してください。またその中で一般客相手や大学同士で対話型の交流、意見交換を行って頂きます。
- ・聴衆に、より興味を持ってもらうために数分間のスピーチを各研究室に行ってください。（スピーチの内容は堅苦しくないものにしてください。）

- ・聴衆には、展示見学後に採点形式のアンケート調査を行い、優秀な研究室には表彰を予定しています。

※研究室の展示の制限について

- ・ 1ブースの大きさ：○○cm×○○cm、パネル1枚：180cm×120cm
- ・ PCやプロジェクターなど電力を消費する機器を持ち込む場合は申請が必要です。
- ・ ブースに展示する物品は各研究室が思案し、展示物の持ち込みは、危険物や極端に巨大な物品、会場が拒否する物品でない限り大丈夫です。
- ・ 1m² 当り○○kg以上の機器は持込禁止します。
- ・ 危険物（液体窒素等）等を持ち込む可能性がある研究室は事前に実行委員会側に連絡してください。（持ち込み可能かどうか、その都度検討します）

2. 研究室展示の目的・メリット

各大学で行われている研究内容を研究室単位で一般の高校生や企業の方に理解してもらうことで

- ・ 大学とはどういう場所で日頃どんなことをやっているのかという部分を明解に。
- ・ 理系離れが不安視される高校生に対し理系に興味をもってもらう絶好の場に。
- ・ 研究内容を一般の人が理解できるようにするために、展示者がプレゼン内容を簡潔に、また興味を惹くよう創意工夫する必要があり、発表技術の向上へつながる。

などといった利点があります。

3. 日程・場所・費用について

- ・ 日程：12月4日-5日（土・日曜日）
- ・ 場所：テクノアークしまね
- ・ 費用：参加費は無料です。但し、器具等の運搬費・交通費は各研究室の負担としていただきます。
- ・ 時間：4日 13:00～21:00 *コアタイム可能
5日 9:00～17:00 *コアタイム可能
- ・ 準備：展示の準備については4日の午前中（9:00 ぐらいから）に行ってもらう予定です。

※ 参加する研究室の数やブースの区画分け等の詳細は決まり次第随時報告します。

※ コアタイムとはその時間帯に行けば必ず展示担当者がいるという時間帯のことです。このコアタイムは展示者が他の展示やTPも見学できるように設定されたものです。

※ 以上の企画概要および申込書等について質問等ありましたら以下の責任者まで連絡してください。

責任者連絡先

- ・ 〒755-8611 山口県宇部市常盤台2丁目16-1
山口大学工学部電気電子工学科 プラズマエネルギー工学研究室
- ・ Tel : 0836-85-9449（担当：山谷）
- ・ E-mail : a084fe@yamaguchi-u.ac.jp